

# 平成25年度 湯沢砂防事務所 事業計画概要

## <平成25年度事業計画のポイント>

- 平成23年7月新潟・福島豪雨により土砂災害が発生した高棚川、登川、三国川において、砂防事業の推進を行い、再度災害防止を図ります。
- 新潟県中越地震で大きな被害を受けた芋川については直轄砂防事業と直轄地すべり対策事業を、相川川については直轄砂防事業を引き続き計画的に推進し、再度災害防止を図ります。
- 管内に存在する砂防設備の状況を適切に把握し、砂防堰堤等の機能確保対策に計画的に取り組めます。



北陸地方整備局  
湯沢砂防事務所

# 1

## 湯沢砂防事務所の「安全で安心な地域づくり」の基本方針

湯沢砂防事務所は、信濃川の支流の魚野川、清津川、中津川の流域の約 2,200 平方キロメートルを担当し、直轄砂防事務所としては日本一の広さで砂防事業を行っています。

管内には谷川岳・苗場山などからなる「上信越高原国立公園」、越後三山・守門岳・浅草岳などからなる「越後三山只見国定公園」、巻機山を中心とする「魚沼連峰県立自然公園」があり、四季の変化に富んだ、自然豊かで美しい地域となっています。

また、関東と北陸を結ぶ上越新幹線や関越自動車道が通り、首都圏から1～2時間圏にあるこの地域は、多数のスキー場や温泉などの豊かな自然を活用した、日本有数のリゾート地域となっています。

その一方で、豊かな自然の恵みを与えてくれる山々は非常に脆弱な地質と急峻地形からなっており、梅雨から秋にかけての集中豪雨や台風、冬から春にかけて豪雪および融雪によって崩れやすく、土砂の生産・流出の激しい地域です。加えて、人家集落、道路や鉄道などが山沿いに多く立地しているため、土砂災害を受けやすい地域となっています。

このような管内の特性を踏まえ、湯沢砂防事務所は、「定住交流の促進」、「個性豊かな地域づくり」、「自然との共生」を整備方針とし、技術の研鑽と開発、様々な情報の発信に努めながら、地域に根ざした砂防事業を推進し、安全で安心な地域づくりに取り組んでいます。

1. 芋川流域砂防事業・地すべり対策事業の推進 ----- p. 3  
(新潟県長岡市山古志・川口峠、小千谷市塩谷、魚沼市竜光)
2. 相川川流域砂防事業の推進 ----- p. 4  
(新潟県長岡市川口田麦山、小千谷市)
3. 大倉砂防堰堤群の推進 ----- p. 5  
(新潟県南魚沼市大倉)
4. 三国川中流域土砂災害対策の推進 ----- p. 6  
(新潟県南魚沼市小川・土沢・蛭窪)
5. 高棚川砂防堰堤群の推進 ----- p. 7  
(新潟県南魚沼市長崎)
6. 丸ノ沢砂防堰堤群の着手 ----- p. 8  
(新潟県南魚沼市清水)
7. 戸沢入川砂防堰堤の推進 ----- p. 9  
(新潟県南魚沼郡湯沢町土樽)
8. 三俣溪流保全工の推進 ----- p. 10  
(新潟県南魚沼郡湯沢町三俣)
9. 石黒川砂防堰堤群の推進 ----- p. 11  
(新潟県中魚沼郡津南町芦ヶ崎)
10. 中津川上流砂防堰堤群の推進 ----- p. 12  
(長野県下水内郡栄村上野原)

# 1. 信濃川下流水系芋川流域砂防事業・地すべり対策事業の推進

にいがたけんながおかしやまこし かわぐちとうげ おぢやししおだに うおぬましりゅうこう  
新潟県長岡市山古志・川口峠、小千谷市塩谷、魚沼市竜光

## 事業の概要

新潟県中越地震により、芋川流域では多数の河道閉塞・地すべりが発生し、そのまま放置すると越水や閉塞土塊の崩壊の危険性があつたことから、新潟県の要請を受け、緊急対応及び直轄災害緊急事業等により、流域内で11地区のえん堤等を施工しました。しかし、流域内では荒廃が進行しており、まだまだ多量の不安定土砂が河床に堆積している状況にあります。これら不安定土砂の下流への流出抑制を図るため、砂防事業・地すべり対策事業を推進します。

## 整備効果

砂防事業・地すべり対策事業の実施により、家屋等の保全、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

## 事業着手

砂防事業：平成17年 地すべり対策事業：平成18年

## 平成25年度の事業内容

砂防事業：芋川流域の9箇所（南平アシ沢<ナツペイアサヅ>・西願寺川上流<サイガンジカウジョウリウ>・冷子沢第3号<ヒヤコサヅダ3ゴウ>・神沢川第2号, 3号<カシカワダ2ゴウ, 3ゴウ>・多間田川第1号, 2号<タマノカワダ1ゴウ, 2ゴウ>・十二平下流<ジュウニヘダリウ>・芋川沢第1号<イモガサヅダ1ゴウ>）において砂防堰堤の整備進捗を図ります。

地すべり対策事業：芋川流域の4地区（小松倉前沢<コマツクラマエザ>・峠塩谷川下流<トウゲシオカニカワリウ>・上塩谷<カミシオガニ>・池谷<イケタ>）の地すべり対策工の進捗を図ります。



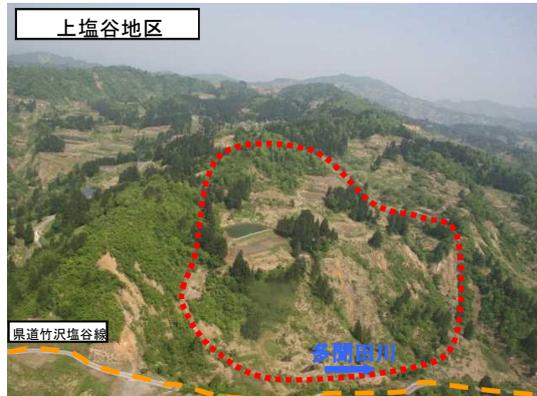
西願寺川上流砂防堰堤



多間田川流砂防堰堤群



小松倉前沢地区



上塩谷地区

## 2. 信濃川下流水系 あいかわがわりゅういき 相川川流域砂防事業の推進

にいがたけんがおかしかわぐちたむぎやま おぢやし

新潟県長岡市川口田麦山・小千谷市

### 事業の概要

新潟県中越地震により魚野川の支川相川川流域では多数の斜面崩壊が発生し、流域内には多量の不安定土砂が存在しています。また、平成18年の冬は中越地方で20年ぶりの豪雪となり、その後の融雪出水等によって流域の荒廃が進みました。これら不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害防止のため、砂防事業の推進を図ります。

### 整備効果

不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

### 事業着手

平成18年

### 平成25年度の事業内容

相川川流域の9箇所（相川川上流<アイカワリゾウリユ>・相川川上流第2号<アイカワリゾウリユダイゴウ>・松葉川<マツバガワ>・小高<コタカ>・岩ノ沢川<イノサガワ>・清水沢川<シミズサガワ>・大形<オホガタ>・源太山川<ゲンタヤマガワ>・向山<ムカヤマ>）において砂防堰堤の整備進捗を図ります。

#### 向山砂防堰堤群



#### 清水沢川砂防堰堤



#### 源太山川砂防堰堤



#### 位置図



### 3. 信濃川下流水系 <sup>おおくら</sup> 大倉砂防堰堤群の推進 <sup>にいがた みなみうおぬま おおくら</sup> 新潟県南魚沼市大倉

#### 事業の概要

当溪流は、水無川に流入する土石流危険溪流です。当該溪流は、巨石及び流木主体の不安定な渓床状況であり、下流保全対象に対する危険度が高くなっています。また、砂防施設は未整備で、土石流の十分な捕捉ができていません。

このため、砂防堰堤を整備し、早期に安全の確保を図ります。

#### 整備効果

土石流の直接被害から保全対象（23戸・79人）を守るとともに、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する下流域の土砂氾濫から、南魚沼市（約62千人）を保全します。

#### 事業着手

平成23年

#### 平成25年度の事業内容

砂防堰堤の工事に着手します。



## 4. 信濃川下流水系 <sup>さぐりかわ</sup> 三国川中流域土砂災害対策の推進 <sup>にいがた みなみうおぬま おがわ つちさわ ひるくぼ</sup> 新潟県南魚沼市小川・土沢・蛭窪

### 事業の概要

三国川中流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨により土石流が発生し、下流一帯が土石流による災害に見舞われました。特に、堆積土砂によって流向が変わり、高平沢に土石流が集中したため、下流の土沢地区の家屋が甚大な被害を受けました。本流域内には、依然大量の不安定な土石流堆積物が堆積しており、再度豪雨に見舞われた場合に、土石流が発生する可能性が高く、直下流に発電施設も存在することから、再度災害が発生した場合、その影響がより広域に及ぶことが懸念されるため、早急に砂防堰堤を整備する必要があります。

### 整備効果

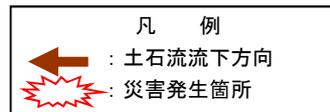
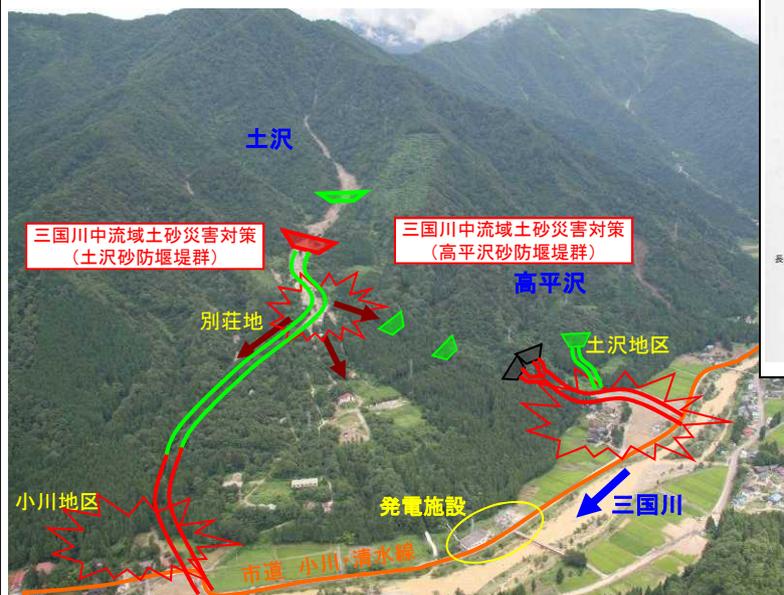
砂防堰堤群の整備により、再度災害を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

### 事業着手

平成24年

### 平成25年度の事業内容

砂防堰堤群の整備を推進します。



不安定土砂が堆積する堰堤計画位置 (土沢)



被災した溪流直下流の家屋



## 6. 信濃川下流水系 <sup>まるのさわ</sup>丸ノ沢砂防堰堤群の着手 <sup>にいがた みなみうおぬま しみず</sup>新潟県南魚沼市清水

### 事業の概要

登川上流部に位置する丸ノ沢流域は荒廃が進行しており、上流域からの大量の土砂流出により、河床には不安定土砂が厚く堆積しているため、豪雨等により大量の土砂が流出する非常に危険な溪流です。

平成23年7月新潟・福島豪雨時も、丸ノ沢から大量の土砂が流出しており、早急に砂防堰堤群を整備して、不安定土砂の流出抑止を図る必要があります。

### 整備効果

不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する下流域の土砂氾濫から、南魚沼市（人口約62千人）を保全します。

### 事業着手

平成25年

### 平成25年度の事業内容

砂防堰堤の工事着手に向け、用地取得を進めます。



登川堤防決壊による被害状況(S56.8)



下流部の清水集落

## 7. 信濃川下流水系 戸沢入川砂防堰堤の推進

とざわいりがわ  
にいがた みなみうおぬま ゆざわまち つちたる  
新潟県南魚沼郡湯沢町土樽

### 事業の概要

戸沢入川は魚野川に流入する土石流危険渓流で、流域内には多くの不安定土砂が見られており、土砂災害を発生させるポテンシャルが高いものの砂防施設が整備されていないため、ひとたび土砂災害が発生した際には甚大な被害が生ずることが懸念されています。

また、下流にはスキー場や公園が整備され、多くの人を訪れるような場所であることから、早急な対策が必要であるため、砂防事業の推進を図ります。

### 整備効果

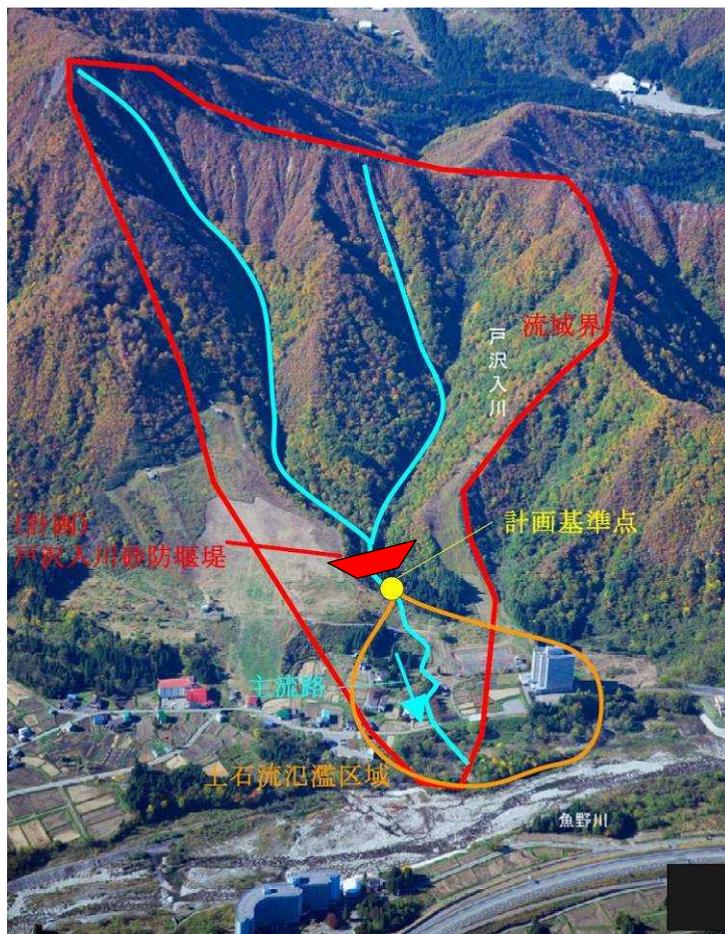
土石流の直接被害から保全対象（13戸・25人）を守るとともに、下流への土砂流出を抑制します。

### 事業着手

平成23年

### 平成25年度の事業内容

砂防堰堤の工事に着手します。



巨礫の堆積状況



戸沢入川砂防堰堤

## 8. 信濃川下流水系 三俣溪流保全工の推進

みつまたけいりゅうほぜんこう  
にいがた みなみうおぬま ゆざわまち みつまた  
新潟県南魚沼郡湯沢町三俣

### 事業の概要

信濃川下流水系清津川は、白砂山を水源とする急流河川で、過去から大量の土砂を下流に流し続けています。

平成23年9月の台風12号でも、上流から大量の土砂が流出するとともに、河岸の浸食等の被害が流域の至る所で発生しました。

清津川中流域の三俣地区には、新潟と関東圏域を結び緊急輸送道路に指定されている国道17号が清津川に併走しているとともに、湯沢町の主要観光施設があります。

このように、重要交通網の保全や清津川沿川地域の住民を土砂災害から守るために三俣溪流保全工の整備を推進します。

### 整備効果

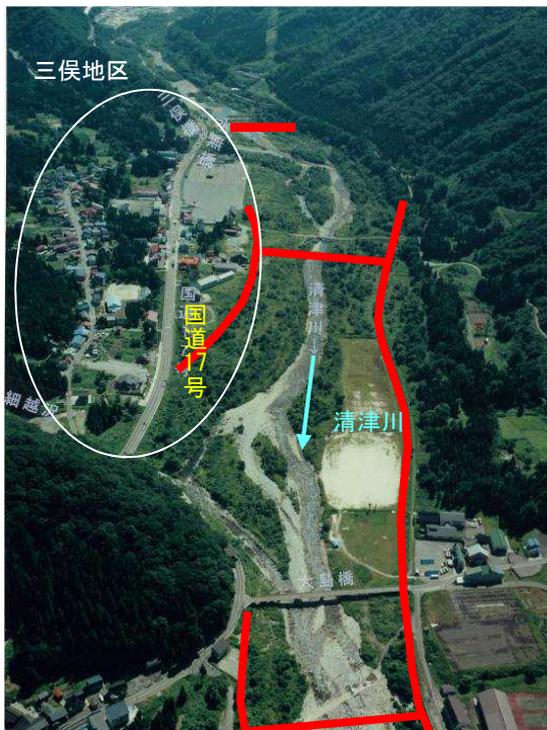
不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する流域内や下流域での土砂氾濫から、湯沢町三俣地区や新潟県と関東地方を結ぶ重要交通網である国道17号、下流の十日町市を保全します。

### 事業着手

平成19年

### 平成25年度の事業内容

引き続き、溪流保全工の工事を進めます。



清津川沿いに立地する三俣地区や国道17号等を保全するため、溪流保全工を整備します



平成23年9月 台風12号出水により町道の橋梁が流出



なかつがわ  
**10. 信濃川下流水系 中津川上流砂防堰堤群の推進**  
 ながの しもみのち さかえむら うえのはら  
**長野県下水内郡栄村上野原**

**事業の概要**

中津川流域は、苗場山、鳥甲山等から火山噴出物による非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂を流出しています。

溪流内には崩壊地が多数存在し、河床には大量の不安定土砂が堆積しています。

中津川流域では、昭和56年8月の台風15号による豪雨で甚大な被害が発生していますが、整備率は未だに低い状況となっています。

そのため、砂防堰堤群の設置により、上流からの土砂流出を調節し、直下流の屋敷地区を保全するとともに、下流の津南町を守ります。

**整備効果**

不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流の屋敷地区を保全します。併せて、流出土砂による河床上昇に起因する下流域の土砂氾濫から、津南町（人口約11千人）を保全します。

**事業着手**

平成21年

**平成25年度の事業内容**

引き続き砂防堰堤群の整備を進め、早期完成に向けて事業を推進します。

### 3 平成25年度 事業別予算総括表

(単位:百万円)

事業区分	平成25年度 当初(A)	平成24年度 当初(B)	平成23年度 当初(C)	前年度比 (A/B)	前々年度比 (A/C)
直轄砂防事業費	4,218	3,998	4,943	1.06	0.85
直轄砂防事業	3,258	3,023	3,851	1.08	0.85
直轄火山砂防事業	960	975	1,092	0.98	0.88
直轄地すべり対策事業費	818	917	1,218	0.89	0.67
事業費合計	5,036	4,915	6,161	1.02	0.82

※1 業務取扱費を除く。

### 4 平成25年度 実施箇所数

事業区分	実施箇所数				
	継続	新規	再開	計	うち完成
直轄砂防事業	37	1	0	38	2
直轄砂防事業	29	1	0	30	2
直轄火山砂防事業	8	0	0	8	0

事業区分	実施箇所数				
	継続	新規	再開	計	うち完成
直轄地すべり対策事業	1	-	-	1	0

## 5 平成25年度 実施箇所

### <砂防事業>

河川名	支川名	市町村名	事業箇所名	全体計画概要	施工予定期間	担当出張所等
魚野川	芋川	長岡市 小千谷市 魚沼市	南平アシ沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=102m	H19～H26	建設監督官 (芋川)
			西願寺川上流砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=50m	H21～H26	
			冷子沢第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=55m	H22～H27	
			神沢川第2号砂防堰堤	砂防堰堤 H= 6.5m L=44m	H21～H26	
			神沢川第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=73m	H22～H26	
			多聞田川砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H23～H26	
			十二平下流砂防堰堤	砂防堰堤 H=8.0m L=54m	H22～H26	
			芋川沢第1号砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=58m	H21～H26	
	相川川	長岡市	相川川上流砂防堰堤	砂防堰堤嵩上げ	H22～H26	中津川出張所
			相川川上流第2号砂防堰堤	砂防堰堤嵩上げ	H22～H26	
			松葉川砂防堰堤	砂防堰堤 H=7.5m L=38m	H21～H26	
			小高砂防堰堤	砂防堰堤 H= 5.5m L=38m	H22～H25	
			岩ノ沢川砂防堰堤	砂防堰堤 H=10.0m L=62m	H21～H27	
			向山砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H23～H27	
			源太山川砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.5m L=46m	H23～H27	
			大形砂防堰堤	砂防堰堤 H=6.0m L=59m	H23～H26	
	清水沢川砂防堰堤	砂防堰堤 H= 6.5m L=58m	H21～H25			
	破間川 上流	魚沼市	市ノ沢砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H24～H28	破間川出張所
	水無川	南魚沼市	赤坂沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.0m L=76m	H23～H27	
			高石上流第2号砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.5m L=80m	H22～H26	
	三国川	南魚沼市	大倉砂防堰堤群	砂防堰堤 H=9.0m L=50m	H23～H26	
			三国川中流域土砂災害対策	砂防堰堤群・溪流保全工	H24～H28	
	高棚川	南魚沼市	高棚川砂防堰堤群	砂防堰堤群・溪流保全工	H24～H30	
	登川		登川床固工群	帯工4基・護岸工・魚道工	H15～H29	
			湊沢第4号砂防堰堤	砂防堰堤 H=10.5m L=72m	H23～H26	
			檜倉沢砂防堰堤群	砂防堰堤6基	H7～H27	
大源太川	湯沢町	檜倉砂防堰堤補強	砂防副堰堤1基	H24～H27		
		丸ノ沢砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H25～H32[新規]		
		居頭沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=9m L=61m	H23～H27		
		一ノ沢砂防堰堤	砂防堰堤 H= 12.0m L=86m	H22～H26		
魚野川 上流	湯沢町	戸沢入川砂防堰堤	砂防堰堤 H=12m L=68m	H23～H27		
		松川入川溪流保全工	護岸工・帯工・魚道工	H24～H27		
		三俣溪流保全工	帯工3基・導流堤・護岸工	H23～H32		
清津川	浅貝川	浅貝川溪流保全工	床固工13基・帯工2基・護岸工	H24～H30	建設監督官 (魚野川)	
浅貝第1号砂防堰堤	砂防堰堤 H=8.5m L=94m	H24～H27				
中津川	中津川	津南町	中津川床固工群	床固工10基・帯工・護岸工	H10～H29	中津川出張所
		栄村	石黒川砂防堰堤群	砂防堰堤3基	H23～H27	
			中津川上流砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H21～H32	

### <地すべり対策事業>

河川名	支川名	市町村名	事業地区名	全体計画概要	施工予定期間	担当出張所等
魚野川	芋川	長岡市 小千谷市 魚沼市	芋川地区地すべり対策 〔小松倉前沢・峠塩谷川下流・ 上塩谷・池谷〕	抑制工 1式 抑止工 1式	H18～H27	建設監督官 (芋川)

南平アシ沢砂防堰堤  
西願寺川上流砂防堰堤  
冷子沢第3号砂防堰堤  
神沢川第2号砂防堰堤  
神沢川第3号砂防堰堤  
多間田川砂防堰堤群  
十二平下流砂防堰堤  
芋川沢第1号砂防堰堤

芋川地区地すべり対策  
(小松倉前沢・  
峠塩谷川下流・  
上塩谷・池谷)

相川川上流砂防堰堤  
相川川上流第2号砂防堰堤  
松葉川砂防堰堤  
小高砂防堰堤  
岩ノ沢川砂防堰堤  
向山砂防堰堤群  
源太山川砂防堰堤  
大形砂防堰堤  
清水沢川砂防堰堤

中津川床固工群  
石黒川砂防堰堤群  
中津川上流砂防堰堤群  
中津川  
釜川  
清津川  
湯沢町  
硫黄川  
小赤沢川  
橋川  
雑魚川  
山ノ内町  
赤石山  
六合村  
群馬県

